

# チャリティーコラボコンサート へのお誘い

神戸・大阪のおもしろい仲間と一緒に、震災支援のチャリティーコンサートを開催します。  
小さな命を守ることの大事さ、支え合う仲間が居ることが生きるエネルギーになる…  
そんな思いを大切にしたい素敵なコンサートにしたいです。一緒に楽しい時間を共有しましょう！



日時：2016年 11月 26日 (土)  
14時00～16時30分 (開場13時30分)



会場：**神戸ファッション美術館 オルビスホール**



六甲ライナー・アイランドセンター駅 南東徒歩3分

<http://www.fashionmuseum.or.jp/rent/hall.html>

プログラム 14時00分 開演 = コラボステージ =

シンガーソングライター

**リピート山中**



手話うたパフォーマー

**ふうちゃん**



架空のアニソンシンガー

**Maguma**



陽気な  
ブギウギピアニスト  
**井山あきのり**



会費 大人3000円 高・大学生1000円 小・中学生500円 幼児無料

\*障がいのある方とそのサポーター1名は、それぞれ半額になります。

主催 いのちの石碑プロジェクト応援し隊

後援 神戸市・神戸市教育委員会・神戸新聞社・朝日新聞神戸総局・FMあまがさき

協賛 ・株式会社PAF ・石炭倉庫(JDC出版) ・井岡弘樹ボクシングジム ・株式会社GYMNIC  
・斎藤真弓ANGEL BATON STUDIO ・K-ABC神戸エンジェルボールクラブ ・ウジタオートサロン  
・地球洗い隊 ・神戸ユニバーサル研究会 ・牛舎のランプ ・夢あそび ・True Island  
・株式会社welcome ・(有)かわちや ・FBM研究会 ・大阪、神戸の障がい者福祉事業所多数

チケット申込み先

石炭倉庫 チケット専用ダイヤル 0120-3341-39



問合せ先

いのちの石碑プロジェクト応援し隊 事務局 大島昇

TEL 090-1156-4859 E-mail nobo224@amigo.zaq.jp

## 「いのちの石碑プロジェクト」 応援し隊の主旨及び活動

東北大震災後、F B M研究会メンバー有志で年1回の訪問を続けていて、柔らかいボールを媒介として、障がいのある子どもたちのからだほぐしや支援の方法の指導に行かせてもらっています。その活動を通して、石巻や名取の支援学校等の皆様方と素敵な出会いとつながりをもって感謝しています。

昨年の9月の訪問の折、2年ぶりに女川港を訪ねてきました。それまで錆びついていたJR石巻線の線路が修復され、見事に復興していたのです。新設された女川駅舎とその周辺の変貌ぶりに驚きました。

駅舎の隣にできていた女川フューチャーセンターも訪問してきました。歌手の中村雅俊さんが寄贈されたトレーラー車が移設改装され、地域の交流、イベント施設ができていました。その日はそこで、女川中学校の卒業生が「いのちの石碑プロジェクト」の集まりをしていました。

震災を体験した子どもたちが、自分たちの手で1000年後の命を守るために、

- ① 絆のある町づくり
- ② 高台へ避難できる町づくり
- ③ 震災の記録を残す

という3つのテーマを掲げて前向きに取り組んでいました。その想いと行動に大きな感動と期待を抱きました。

その「いのちの石碑」を作る女川の子どもたちを支える会の会長をされているのが、震災後すぐに立ち上げられた「ちゃっこい絵本館」～「つながる図書館」を、ずっと支えて来られた山下由希子さんでした。出逢いの不思議に、驚きと感謝です！

阪神淡路大震災を経験した神戸・大阪の地から、心あったかい仲間とともに、応援の輪を広げたいです。ご理解、ご協力よろしくお願ひします。

2106年6月 いのちの石碑プロジェクト応援し隊 大島昇



## 「いのちの石碑プロジェクト」

学校には紙1枚すら無く、絶望の縁に立たされていた2011年3月末。縁のある方々が「希望のえんぴつプロジェクト」を立ち上げてくださり、その後全国の方々のご支援で贈られたえんぴつやノートは、女川の子どもたちに希望を描く力を与えてくれました。月日が流れ、町の復興状況はまだまだ厳しいのが現実ですが、それでも少しずつ前に進んでいます。これからの町づくりを考えると、なによりまず、この町のこれからの防災の仕組みを考えなくてはなりません。

「1000年先の命を守りたい」そんな想いを胸に、女川の中学生たちは社会科の授業を通じて、新しい防災プランを作り上げました。「絆を深める」「高台への避難ルート」「記録に残す」という3つのテーマで。この生徒たちのプランを机上のアイデアに終わらせず、具体的に形にするために、町のメンバーで話し合い、ご寄付を募らせていただくことにしました。ご寄付を充てさせていただきたいのは、「記録を残す」というテーマの中の、「町にある21の浜の、津波が襲って来た高さの地点に石碑を建てる」というプランです。「大人たちに頼ってばかりはいられない」と生徒たち自身も動きはじめています。ぜひ、皆さまの力を貸してください。

「いのちの石碑」を作る女川の子どもたちを支える会 代表 山下由希子

